

エントリーシート (学生版・記入例)

留意事項

※フォントサイズは12pt以上を推奨いたします

※日本語にてご記載ください

■学生版ハッカソン

【応募締切】 令和8年10月21日（水） 23:59

【採択予定】 5件程度

【伴走支援期間】 令和8年11月～令和9年2月を予定

【応募について】 1人の応募に加え、複数のメンバーによるチームでの応募も可能です。

※応募者多数の場合は、応募内容をもとに選考を行います。あらかじめご了承ください。

■応募にあたっては、募集要項を事前にご確認のうえ、エントリーシートに必要事項を記入し、応募フォームからご提出ください。

【募集要項・応募フォーム】

▶[募集要項を確認する（公式サイト）](#)

▶[応募フォーム](#)

【応募者及び参加者の掲載について】

本プログラムでは、応募者及び参加者の所属する学校の情報を、大阪府ウェブサイト及び本事業の公式ウェブサイト等でご紹介したいと考えております。

学校名及びロゴの掲載について、本フォーム内でご意向をお聞かせください。

選択いただいた内容に基づき掲載します。

※「応募者」：本プログラムに参加申込をする者

※「参加者」：応募者の中から書類審査に合格し、本プログラムに参加をする者

募集テーマ

◎テーマ設定は、以下の2つの方法でご活用いただけます。

分野から考える方法：

大きな方向性や社会課題の分野から着想し、その分野内でどのようなアイデアが考えられるかを検討したい場合、各分野のセクションからご覧ください。

アイデア例から考える方法：

具体的なユースケースや実装イメージから発想し、そこからビジネス展開を検討したい場合、「想定するユースケース」と「アイデア例」をご参照ください。

分野	想定する ユースケースの例	アイデア例
福祉	高齢者、障がい者、こども・若者への支援など	・大阪の高齢者が必要な医療・介護サービスをより受けやすくなるアイデア ・介護スタッフが限られたリソースでより多くの高齢者を支援できるアイデア ・困難を抱える子ども・若者に、支援がより早く・確実に届くアイデア
健康・医療	生活習慣病予防、働く人の健康など	・大阪府民の食習慣を改善し、生活習慣病を予防するアイデア ・大阪のアレルギー・呼吸器疾患を持つ府民が毎年安心して生活できるアイデア ・大阪で働く人のメンタルヘルスと職場のウェルビーイングを向上させるアイデア
雇用促進	各分野における人材確保など	・大阪の中小製造業が人材を確保し、事業を継続・発展させるアイデア ・担い手不足の大阪府の農業の問題を解決するアイデア
交通・防災	交通事故減少に向けた取組、災害リスクへの備え、など	・大阪府内のインフラを効率よく維持・更新するアイデア ・大阪府内の交通事故を継続的に減らし、道路をより安全にするアイデア ・大阪の企業・地域が毎年の台風・水害・地震リスクに継続的に備え、事業を守るアイデア
まちづくり・観光	空き家対策、観光振興など	・老朽化×高齢化が同時進行するマンション住民と地域が抱える問題を解決するアイデア ・大阪府内で増え続ける空き家・遊休資産を地域の資源として活かすアイデア ・大阪の観光地・地域の魅力をデータとデジタル技術で継続的に高めるアイデア
その他	教育分野・農業分野等、上記分野以外におけるユースケース	・大阪の大学が地域課題解決に貢献し、学生のキャリア形成を支援するアイデア ・新規就農者の営農開始時のリスクを最小化するアイデア

応募者情報

	氏名	氏名（カナ）	大学・団体名	学部・学科	学年	メールアドレス	電話番号
記入例	〇〇 〇〇	□□□□ □□□□	ABC大学	経済学部経済学科	3年	aaabbbccc@abc.ac.jp	0xx-xxxx-xxxx
1 代表者	〇〇 〇〇	□□□□ □□□□	ABC大学	経済学部経済学科	3年	aaabbbccc@abc.ac.jp	0xx-xxxx-xxxx
2	〇〇 〇〇	□□□□ □□□□	ABC大学	工学部情報工学科	4年		
3	〇〇 〇〇	□□□□ □□□□	ABC大学	文学部文学科	2年		
4							
5							
6							

応募テーマ：分野
(該当する分野に○)
(複数選択可)

福祉

まちづくり

健康・医療

観光

雇用促進

教育

農業

交通

防災

その他 ()

事業案タイトル

介護が必要になった高齢者やその家族が、自分に合った介護支援の専門家を、地域や得意分野、空き状況から探せるサービス

あなたの思い

祖母が要介護状態になった際、家族として介護支援の専門家に相談したものの、事業所の空き状況やサービス内容の判断に時間がかかり、必要な支援につながるまで1か月近くを要した経験があります。介護現場は人手不足が深刻な中、専門家自身も「探す・調整する」業務に多くの時間を割かれています。大阪府内の介護・医療データが公開され始めている今、情報の分断を解消し、限られた労働力でもより多くの高齢者に支援が届く仕組みをつくりたいと考えています。

顧客・ユーザー

顧客：大阪府内の居宅介護支援事業所の介護支援の専門家、地域包括支援センター職員

ユーザー：要介護高齢者本人とその家族（特に大阪市・堺市など事業所数が多い都市部で「情報が多すぎて選べない」層）

解決したい課題仮説

- ・介護支援の専門家は、利用者に合う介護事業所（定員・空き状況・サービス種別）を探す際、複数の一覧や電話確認に頼り選定に時間がかかっている
- ・家族は、介護施設だけでなく周辺の医療機関や生活関連施設まで含めて選びたいが、情報が分散し把握できない
- ・人手不足の介護現場で、限られた専門家の作業時間が「探す・問い合わせる」作業に割かれている

提供価値・
解決策仮説

- ・大阪府・市町村がODPOで公開する介護サービス事業所データを統合し、地図上でサービス種別・所在地・提供圏を可視化するマッチング画面を提供
- ・民間の医療機関データと組み合わせ、事業所周辺の医療機関・生活関連施設もあわせて表示し、生活圏全体を踏まえた選定を支援
- ・専門家の「探す」時間を短縮し、より多くの利用者に対応できる状態をつくる

ODPO等データ活用

- ・大阪府/大阪市/堺市/東大阪市/門真市/四條畷市/泉佐野市の「介護サービス事業所一覧」「居宅サービス事業所一覧」「地域密着型サービス事業所一覧」「社会福祉施設一覧」（各自治体ODPOカタログ、2026/7時点）
- ・民間データ：ティーペック株式会社「医療機関情報のデータ」（全国約16万件の医療機関データベース）
- ・活用イメージ：各自治体の事業所一覧をデータカタログから取得、重複した情報を整理し地図データと統合。事業所数の多い大阪市・堺市から対象エリアを拡大

その他

特になし